

(雑 録) 1999年9月—2003年3月まで

I. 学会誌等発表論文

1. M.Minagawa, S.Yasumoto, T.Ariyoshi, T. Umemoto, and T.Ueda (1999) : Internnual, seasonal. local and body size variations in reproduction of the prawn *Penaeus (Marsupenaeus) japonicus* (Crustacea : Decapoda : Penaeidae) in the Ariake Sea and Tachibana Bay, Japan, *Marine biology*. 136, 223-221 .
2. N.Nakashima, M.Minagawa, and S. Ito(2000) : Growth and spawning of hatchery-reared Chinese white prawn *Penaeus (Fenneropenaeus) chinensis* released in the Ariake Sea, Japan. *Fisheries Science*. 66(6), 1087-1091.
3. 北村等・伊藤史郎・富永真一 (2000) : ウニおよびナマコ生産用水槽の波板における付着珪藻密度とクロロフィルa量との関係. *SESSILE ORGANISMS*, 16(2), 21-25.
4. 横尾一成・川村嘉応・川原逸朗・東條元昭・水上謙 (2000) : PCR法によるアカグサレ病菌卵胞子の滅菌泥からの検出. *水産増殖*, 48(4), 679-680.
5. 伊藤史郎・江口泰蔵・中島則久・北田修一 (2001) : 有明海湾奥部におけるクルマエビ人工種苗の放流効果の検討. *栽培技研*, 29(1), 35-43.

II. 各種雑誌等, 書籍

1. 横尾一成(2000) : ノリのアカグサレ病に関する最近の研究. *海苔と海藻*, (61), 1-5.
2. 川村嘉応(2001) : 平成12年度佐賀県有明海のノリ養殖の不作と珪藻類の大増殖. *海苔と海藻*, (62), 1-12.
3. 川村嘉応(2002) : 佐賀県有明海域におけるノリの生産状況と環境変化. *海苔と海藻*, (64), 4-9.
4. 伊藤史郎(2002) : ミドリシャミセンガイの産卵と飼育. *うみうし通信*, (34), 4-5.
5. 川村嘉応(2001) : 来る漁期の生産対策. *海苔タイムス*, (1677).
6. 川村嘉応(2002) : 今漁期の問題点と今後の対応. *海苔タイムス*, (1699).
7. 川村嘉応・鷺尾真佐人 (2001) : 養殖現場における選抜育種. *海苔の生物学* (能登谷正浩編), 105-113, 成山堂, 東京.
8. 伊藤史郎(2001) : ナマコーグルメの水産学2. ヒト

テ学—棘皮動物のミラクルワールド(本川達雄編), 200-214, 東海大学出版会, 東京.

9. 川村嘉応・大野正夫 (2002) : 海藻育種. 21世紀初頭の藻学の現況 (堀輝三・大野正夫・堀口健雄編), 日本藻類学会.

III. 研究会報告書等

1. 川村嘉応・吉田賢二 (2003) : 有明海湾奥部に流入する3河川水中のDIPおよびDINの長期変動と海域への負荷. 平成14年度 第12回 九州・山口地区海岸工学者の集い講演概要集.
2. 大隈斉(2002) : アゲマキ漁業の復活に向けての試みについて. 有明海研究に関するシンポジウム講演要旨集

IV. 調査報告書, 事業報告書

1. 伊藤史郎・江口泰蔵 (2000) : 重要甲殻類管理手法高度化調査報告書. 有 1-12.
2. 山口忠則・伊藤史郎 (2001) : 資源増大技術開発事業報告書. 地域型中・底層性種グループ (甲殻類). 有 1-20.
3. 山口忠則・伊藤史郎 (2002) : 資源増大技術開発事業報告書. 地域型中・底層性種グループ (甲殻類). 有 1-20.
4. 山口忠則・伊藤史郎 (2002) : 資源増大技術開発事業報告書. 地域型中・底層性種グループ (甲殻類). 有 1-20.
5. 荒巻裕・横尾一成・川村嘉応・村上孝行 (2000) : ノリ養殖の省力化新システム開発に関する研究. 平成11年度新技術実用化研究促進事業報告書. 1-19.
6. 荒巻裕・横尾一成・川村嘉応 (2001) : ノリ養殖の省力化新システム開発に関する研究. 平成12年度新技術実用化研究促進事業報告書. 1-19.
7. 荒巻裕・横尾一成・川村嘉応 (2002) : ノリ養殖の省力化新システム開発に関する研究. 平成13年度新技術実用化研究促進事業報告書. 1-16.
8. 清本容子・横内克巳・岡村和磨・藤原豪・半田亮司・川村嘉応・吉田雄一・山本憲一 (2002) : 有明海における海色衛星画像の検証とクロロフィルの時空間変動. 西海区水研主要成果集. (5), 10-11.
9. 大隈斉・伊藤史郎 (2002) : アゲマキ資源の回復に向けた取り組み. 平成13年佐賀県水産業の動き.
10. 大隈斉・伊藤史郎 (2002) : アゲマキの種苗生産技術

開発と人工種苗の漁場への放流試験事例について、情報と統計、10月号、佐賀県農林統計協会。

11. 久野勝利・川村嘉応 (2002)：植物プランクトンがノリ生産量と品質に及ぼす影響。有明海の海洋環境の変化が生物生産に及ぼす影響の解明。平成13年度行政対応特別研究報告、24-25。
12. 久野勝利・三根崇幸・川村嘉応 (2003)：植物プランクトンがノリ生産量と品質に及ぼす影響。有明海の海洋環境の変化が生物生産に及ぼす影響の解明。平成14年度行政対応特別研究報告、22-24。

V. 学会における口頭発表

1. 日本古生物学会 (2000/1/28, 早稲田大学)
 - ・ニオガイ科Barnea属 (ニオガイ・ウミタケ) の幼生成長と殻の比較形態。
伊藤泰宏・伊藤史郎・江口泰蔵
2. 九州水産学会シンポジウム(2001/9/17, 長崎大学)
 - ・有明海の漁業生物生産：その環境との関わり
 - ・タイラギ資源の変動 伊藤史郎
 - ・佐賀県のノリ養殖 川村嘉応
3. 日本動物学会・日本植物学会・日本生態学会九州支部・地区合同佐賀例会 (2001/11/17, 佐賀大学)
 - ・タイラギ資源の変動 伊藤史郎
4. 九州沖縄蓄合同シンポジウム (2001/12, 長崎大学)
 - ・有明海における浅海定線と人工衛星海色観測によるモニタリングについて。
横内克己・清本容子・岡村和磨・藤原豪・半田亮司・川村嘉応・吉田雄一・山本憲一・浅沼市男
5. 日本海洋学会春季大会 (2002/3, 東京水産大学)
 - ・有明海におけるSeaWiFs画像の検証結果とクロロフィルの時空間変動。
清本容子・横内克己・岡村和磨・藤原豪・半田亮司・川村嘉応・吉田雄一・山本憲一
6. 第6回 沿岸環境関連学会ジョイントシンポジウム (2002/3/2, 東京水産大学)
 - 「ノリ養殖と沿岸環境」有明海。川村嘉応
7. 平成14年度日本水産学会 (2002/4, 東京)
 - ・有明海におけるナルトビエイの生態調査。
山口敦子・川原逸朗・伊藤史郎
 - ・モノクローナル抗体によるタイラギ初期幼生の同定法の開発。
浜口昌巳・川原逸朗・真崎邦彦
 - ・有明海北東部漁場におけるタイラギの斃死 1. 斃死状況。
松井繁明・筑紫康博・川原逸朗・伊藤史郎・那須

博史・平山泉

- ・有明海北東部漁場におけるタイラギの斃死 3. 成長とグリコーゲン含量の推移。
川原逸朗・伊藤史郎・松井繁明・筑紫康博・那須博史・平山泉・白石晃一・城内智行・北村等
- ・有明海北東部漁場におけるタイラギの斃死 3. 病理学的検査と糸虫幼生の寄生。
熊谷明・良永知義・松井繁明・筑紫康博・川原逸朗・伊藤史郎。
- ・有明海北東部漁場におけるタイラギの斃死 4. 糸虫の分類学的位置。
松山智正・釜石隆・良永知義・川原逸朗・伊藤史郎・松井繁明・筑紫康博。
- ・有明海北東部漁場におけるタイラギの斃死 5. 低酸素水中の酸素消費量の比較。
石松惇・吉田智恵子・川原逸朗・伊藤史郎・松井繁明・筑紫康博
- ・アゲマキ人工稚貝の穿孔基質を用いた飼育
大隈斉・山口忠則・川原逸朗・伊藤史郎・江口泰蔵・古川泰久・槽野満明
- ・有明海底泥中における赤潮原因プランクトンの休眠期細胞の分布密度
板倉茂・山口峰生・石田貴子・今井一郎・尾田成幸・川村嘉応
- 8. 日本プランクトン学会 (2002, 函館)
 - ・有明海産珪藻Rhizosolenia setigeraに感染するウイルスに関する研究-I. RsVの基本性状。
長崎慶三・片野坂徳章・外丸裕司・板倉茂・廣田健一郎・山口峰生
- 9. 国際菌学会 (2002/11/14, 中国)
 - ・Taxonomy and phylogeny of the biflagellate fungus causing a serious disease of the red algae, *Porphyra* spp.
関本訓士・横尾一成・川村嘉応・本多大輔
- 10. 日本海洋学会春季大会 (2003/3, 東京水産学会)
 - ・秋季有明海の海洋表層における日間一次生産量の経月変動。
横内克己・清本容子・岡村和磨・熊谷香・吉田賢二・吉田雄一・山本憲一
- 11. 第27回日本藻類学会 (2003/3/28, 三重県津市)
 - ・*Porphyra* spp. (紅色植物門) に寄生する壺状菌の再同定及びその系統学的位置。
関本訓士・横尾一成・川村嘉応・本多大輔

Ⅵ. 研究会等における講演及び口頭発表

1. 統計事務所講演 (2001/9/5)
 - ・コウライエビの放流について, 川原逸朗
 - ・アゲマキ母貝移植試験, 大隈斉
2. 統計事務所講演(2001/9/21)
 - ・ウミタケの生態, 川原逸朗
 - ・アゲマキ母貝移植試験, 大隈斉
3. 佐賀大学公開講座 (2001/8/4, 佐賀大学)
 - ・有明海ってどんな海 有明海の海苔作り, 川村嘉応
4. 鹿島市議会研修会講演(2001/11/6)
 - ・有明海の環境について, 白島勲
5. 鹿児島大学連合大学院連合農学研究科 共通セミナー (2001/11/7, 佐賀大学)
 - ・有明海におけるノリ養殖と生産環境, 川村嘉応
6. 平成13年度 第4回 佐賀新技術フォーラム (2002/3/1, 佐賀市)
 - ・有明海の再生に向けて始まった試みー佐賀県の試みー, 川村嘉応
7. 有明海及び沿岸環境に関するジョイントワークショップ (2002/3/19, 佐賀大学)
 - ・水産資源に関する取り組み, 村山孝行
8. 平成13年度浅海漁場分科会 (2001/6/11, 西海区水研)
 - ・平成12年度に発生したフィブロカブサについて, 川村嘉応
9. 平成14年度ノリ技術研修会 (2002/8/9, 愛媛県西条市)
 - ・ノリの色落ちと病害対策について, 川村嘉応
10. 有明海研究に関するシンポジウム (2002/8/23, 佐賀大学)
 - ・アゲマキ漁業の復活に向けての試み, 大隈斉
11. 第12回 九州・山口海岸工学者の集い (2002/8/31-9/1, 大和町)
 - ・有明海湾奥部に流入する3河川水中のDIPおよびDINの長期変動と海域への負荷, 川村嘉応・吉田賢二
12. 第4回 MRI (Marine research Institute) シンポジウム (2003/3/16, 長崎大学)
 - ・有明海湾奥部のノリの生産と環境, 川村嘉応
13. 全国ノリ技術担当者会議 (2002/3/18, 東京)
 - ・佐賀県のノリ育種について, 横尾一成